

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスひびき		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24世帯	(回答者数) 22世帯
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 5日		～ 令和 8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 3月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学校高学年、中学生向けに性教育やソーシャルスキルトレーニング・ライフスキルトレーニング等を行っている。	子ども一人ひとりの状況を把握しアセスメントを取り、専門的支援支援実施計画書を作成し、小集団・個別での専門的支援を行っている。	職員間で話し合いながら、支援の充実化を進めていく。
2	地域企業(就労支援事業所)の協力の元、職場見学・体験を行っている。	こどもふくし協議会のマッチングシステムを活用し、地域の就労支援事業所に協力して頂き、子ども達の将来の選択肢が増えるよう職場見学・体験を行っている。	今後、一般企業でのマッチングが計画できればと思う。
3	家族支援	保護者同士の交流の機会の提供として、保護者会「笑み会」を定期的に行っている。また子育てに関する困りごとの相談援助を行いながら、電話やメールでのご相談にも対応させて頂いている。	気軽に参加し易い保護者会の内容を充実させていきたいと思う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の行事に地域住民を招待することができていない。	地域の方を事業所の行事に招待することができていないので、児童と地域の方が一緒に参加できる行事を考えていく。	どのような行事が地域の方が参加し易いかを、事業所内で考えていく。
2	きょうだい同士の交流の機会が作れていない。	きょうだい参加型のイベントができていない。利用児+きょうだい児の人数を事業所スタッフだけで支援するのは、リスクが発生する可能性がでてくる。そのリスクをどのように回避していくか。	リスク回避の為に、きょうだい+保護者参加型のイベント企画を考えていく。
3			